

つるおか 森の散歩道20選

「行きやすく、歩きやすく、行ってみたいくなる」
本市では、そんな魅力いっぱいの「森の散歩道」を20コース選定しています。
森を散歩して、身近にある自然を楽しんでみませんか

第7回 田川里山コース / 六十里越街道・十王峠コース

田川里山コース「奥ゆかしい田川の自然景観。隠れ里伝説が残る長滝・砂谷を散策」

田川コミュニティセンターを起点として、少連寺集落と砂谷集落を經由し、東目集落を抜けて起点に戻るこのコースは、「森の散歩道二十選」の最長コースです。

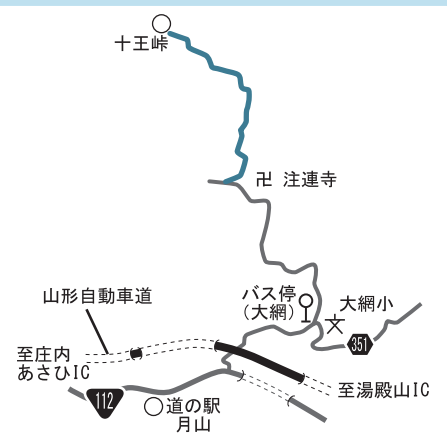


田川コミュニティセンターを出発して、少連寺川沿いを進み、少連寺集落を過ぎると間もなく、杉林に入っていきます。途中には、大きくカーブしながら、何段にも落ちていく長い滝「七つ滝」があります。そこから旧長滝集落を進み、焼畑によって栽培されている田川カブの畑地や、収穫後に植林された山林などを眺めながら、砂谷集落へと向かいます。その後、砂谷川に沿って東目集落へ下り、起点に戻ってきます。長滝の道路脇と砂谷の子安山福重寺には清水があるので、休憩をとりながら散策を楽しむことができます。

長滝には源義経とゆかりのある佐藤莊司元治の子孫が、砂谷には石川県の安宅の関で同じく源義経を見逃した富樫左衛門尉が隠れ住んだといわれており、それぞれの墓が残っています。奥ゆかしい田川の自然景観と伝説に彩られた田川路を歩いてみませんか。

六十里越街道・十王峠コース

■コース 注連寺〜イタヤ清水〜十王峠
 起点(約2.4km) ■所要時間 約1時間20分
 ■問合せ あさひむら観光協会の53・3411、朝日庁舎産業課の53・2111内線352



田川里山コース

■コース 田川コミュニティセンター〜少連寺〜長滝〜砂谷〜東目〜起点(約14km) ■所要時間 約4時間
 ■問合せ 田川コミュニティセンターの35・2003



六十里越街道・十王峠コース「俗界と聖界の境とされた十王峠。七五三掛注連寺には即身仏あり」

鉄門海上人の即身仏が安置され、作家・森敦氏の小説『月山』に登場する寺として有名な注連寺を起点とするこのコース。起点から六十里越街道の結界とされた十王峠までを往復します。

注連寺の裏手にある新山神社の石段を上り、神社脇を進むと田んぼに出ます。そこから案内看板に従い、左手をブナ林、右手を杉林に囲まれた散策路を登っていきます。間もなくして、木の階段を下るとイタヤ清水があります。そこには、小さな石の六地藏が祭られています。この六地藏に水を六回かけてから清水を頂くのが習わしです。清水で喉を潤し、さらに進んでいくと、一度車道に出ます。車道を渡り、散策路を登っていくと、人の背丈ほどある地藏像が立つ十王峠に到着です。十王峠からは月山を望むことができ、峠の先には庄内平野と日本海を一望できるビューポイントもあります。

湯殿山信仰が盛んな頃、当時の人々の足によって踏み固められた六十里越街道。紅葉で彩られる古道をゆくり歩いてみませんか。

